

第24期

運用報告書(全体版)

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

【2020年2月26日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「グローバル・エクセレント・オープン
(愛称 世界連峰)」は、2020年2月26日に第24期
決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決
算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申
上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から、原則として無期限です。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
20期 (2018年2月26日)	円 12,118	円 300	% 9.3	ポイント 2,747.30	% 12.5	ポイント 381.16	% 1.9	% 90.6	% —	百万円 153
21期 (2018年8月27日)	12,774	400	8.7	2,874.69	4.6	383.56	0.6	91.9	—	158
22期 (2019年2月26日)	11,797	300	△ 5.3	2,796.11	△ 2.7	372.18	△ 3.0	91.0	—	75
23期 (2019年8月26日)	10,885	200	△ 6.0	2,847.11	1.8	371.36	△ 0.2	89.9	—	67
24期 (2020年2月26日)	12,035	300	13.3	3,128.21	9.9	404.60	9.0	84.0	—	66

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

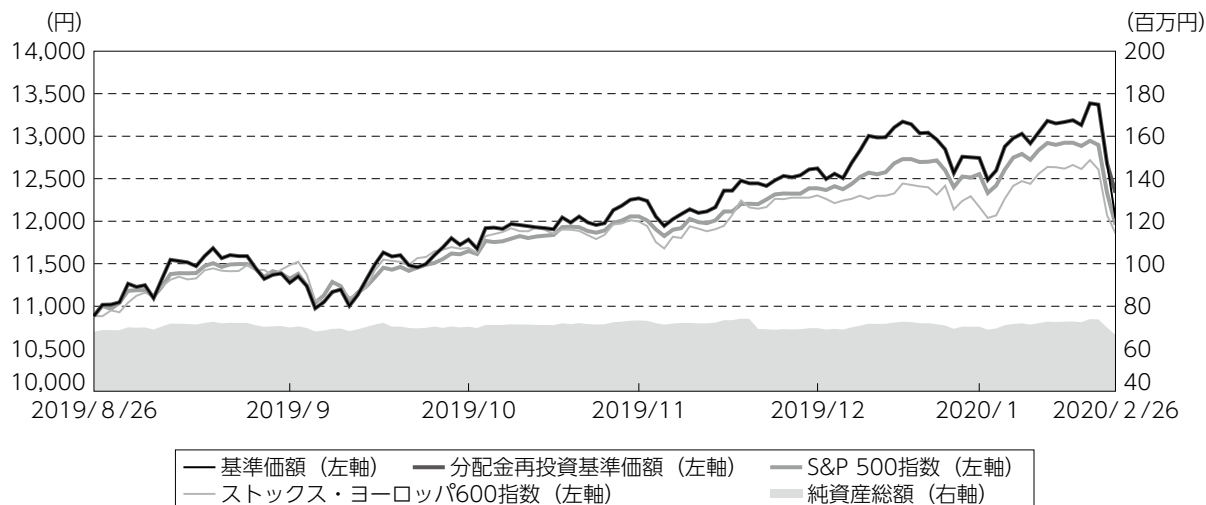
年月日	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
(期首) 2019年8月26日	円 —	% —	ポイント 2,847.11	% —	ポイント 371.36	% —	% 89.9	% —
8月末	11,264	3.5	2,924.58	2.7	376.74	1.4	90.2	—
9月末	11,277	3.6	2,961.79	4.0	391.79	5.5	89.6	—
10月末	11,784	8.3	3,046.77	7.0	398.70	7.4	89.7	—
11月末	12,269	12.7	3,153.63	10.8	409.25	10.2	87.5	—
12月末	12,621	15.9	3,240.02	13.8	419.74	13.0	88.5	—
2020年1月末	12,744	17.1	3,283.66	15.3	415.16	11.8	87.0	—
(期末) 2020年2月26日	12,335	13.3	3,128.21	9.9	404.60	9.0	84.0	—

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年8月27日～2020年2月26日)



期首：10,885円
 期末：12,035円 (既払分配金 (税引前)：300円)
 騰落率：13.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S&P 500指数およびストック・ヨーロッパ600指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首 (2019年8月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・収益の高成長が見込まれた米国のメディア・娯楽株や情報技術サービス株、中国のネット関連株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、業績の伸長が見込まれる米国のALPHABET INCやAPPLE INC、中国のALIBABA GROUP HOLDINGなどの上昇がプラスに寄与しました。
- ・為替市場において、米ドルやユーロが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・米国のネット関連株やフランスの高級品メーカー株、食料品株の下落がマイナスに影響しました。
- ・個別では、米国のBOOKING HOLDINGS INCやフランスのCHRISTIAN DIOR SE、DANONEなどの下落がマイナスに影響しました。

投資環境

（2019年8月27日～2020年2月26日）

世界株式市場は、2019年8月下旬から10月上旬にかけては、欧米において景気減速懸念が強まったことに加え、サウジアラビアの石油施設が攻撃を受けたことから地政学リスクが高まる一方、米国における利下げの実施が下支えとなり、もみ合う展開となりました。その後、10月中旬から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退する中、世界的に金融緩和が行われるとの期待から上昇しました。1月中旬から2月下旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が急速に強まったことから、下落する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2019年8月27日～2020年2月26日）

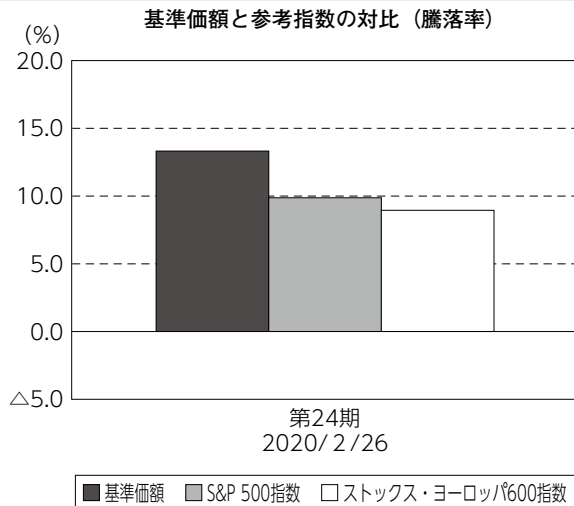
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行いました。

マザーファンドの運用につきましては、米中貿易摩擦の影響や足元の企業業績の動向を踏まえて、業績見通しに安定感のある米国の大手情報技術サービス株やソフトウェア・サービス株、ヘルスケア機器・サービス株、欧州の高級品や化粧品などの消費関連株を高位にウェイト付けしたポートフォリオを2020年1月にかけて維持しました。2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中国人観光客による消費が減速すると考え、欧州の消費関連株のウェイトを引き下げました。実質株式組入比率については、概ね82～90%台で推移させました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年8月27日～2020年2月26日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はともに上昇しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、S&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数です。

分配金

（2019年8月27日～2020年2月26日）

当ファンドは、毎年2月26日および8月26日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当期の分配につきましては、1万口当たり300円（税引前）としました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第24期
	2019年8月27日～ 2020年2月26日
当期分配金	300
（対基準価額比率）	2.432%
当期の収益	76
当期の収益以外	223
翌期繰越分配対象額	2,289

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境見通し>

世界の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を巡る先行き不透明感が続くと見込まれることから、短期的には神経質な値動きが予想されます。しかし、中国政府による景気刺激策や米連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和など、世界的に新型コロナウイルスによる経済への悪影響を軽減するための政策が実施されると見込まれることから、景気悪化が長期化するリスクは限定的であると想定します。新規感染者数の増加が一巡するなど、感染拡大の抑制に目処がつく局面においては、好業績が見込まれる成長株を選好する動きが強まると考えます。

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用する方針です。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

今後の運用方針としては、米国や欧州など先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資増加が業績改善につながると予想されるソフトウェア・サービス株や半導体関連株を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年 8 月27日～2020年 2 月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	98 (46) (46) (5)	0. 818 (0. 387) (0. 387) (0. 044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	7 (7)	0. 055 (0. 055)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0. 009 (0. 009)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	17 (17) (1) (0)	0. 145 (0. 139) (0. 007) (0. 000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	123	1. 027	
期中の平均基準価額は、11,993円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

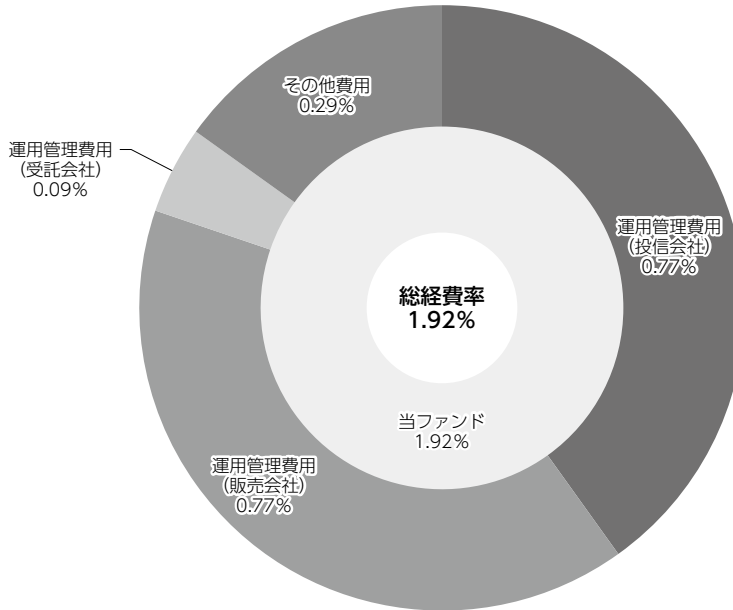
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年8月27日～2020年2月26日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 449	千円 778	千口 6,212	千円 11,551

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2019年8月27日～2020年2月26日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・エクセレント・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	35,752千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	62,691千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.57

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2019年8月27日～2020年2月26日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>
該当事項はございません。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 3	% 30.0		百万円 11	% 44.0	

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	39千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	22千円
(B) / (A)	56.4%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPAN、OKASAN INTERNATIONAL ASIA LTD/HONG KONGです。

○組入資産の明細

(2020年2月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期 首(前期末)	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 40,014	千口 34,251		千円 63,587

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年2月26日現在)

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
グローバル・エクセレント・マザーファンド		千円 63,587	% 92.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		5,097	7.4
投 資 信 託 財 産 総 額		68,684	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) グローバル・エクセレント・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (58,046千円) の投資信託財産総額 (63,588千円) に対する比率は91.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.31円、1ユーロ=119.88円、1スイスフラン=112.98円、1香港ドル=14.16円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年2月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	68,684,459
コール・ローン等	5,096,633
グローバル・エクセレント・マザーファンド(評価額)	63,587,826
(B) 負債	2,240,418
未払収益分配金	1,656,310
未払信託報酬	579,456
未払利息	2
その他未払費用	4,650
(C) 純資産総額(A - B)	66,444,041
元本	55,210,354
次期繰越損益金	11,233,687
(D) 受益権総口数	55,210,354口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,035円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2035円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は62,427,290円、期中追加設定元本額は14,699円、期中一部解約元本額は7,231,635円です。

○損益の状況（2019年8月27日～2020年2月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 373
受取利息	8
支払利息	△ 381
(B) 有価証券売買損益	8,584,891
売買益	9,460,596
売買損	△ 875,705
(C) 信託報酬等	△ 584,134
(D) 当期損益金(A + B + C)	8,000,384
(E) 前期繰越損益金	1,919,618
(F) 追加信託差損益金	2,969,995
(配当等相当額)	(4,238,547)
(売買損益相当額)	(△ 1,268,552)
(G) 計(D + E + F)	12,889,997
(H) 収益分配金	△ 1,656,310
次期繰越損益金(G + H)	11,233,687
追加信託差損益金	2,969,995
(配当等相当額)	(4,238,560)
(売買損益相当額)	(△ 1,268,565)
分配準備積立金	8,399,956
繰越損益金	△ 136,264

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第24期
(a) 配当等収益(費用控除後)	420,159円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,238,560円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	9,636,107円
分配対象収益(a + b + c + d)	14,294,826円
分配対象収益(1万口当たり)	2,589円
分配金額	1,656,310円
分配金額(1万口当たり)	300円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	300円
支払開始日	2020年3月3日(火)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

グローバル・エクセレント・マザーファンド

第12期 運用状況のご報告

決算日：2020年2月26日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
8期(2016年2月26日)	12,232	△13.7	ポイント 1,951.70	% △ 7.7	ポイント 326.54	% △15.6	% 89.8	% —	百万円 115
9期(2017年2月27日)	14,336	17.2	2,367.34	21.3	370.01	13.3	96.2	—	123
10期(2018年2月26日)	16,353	14.1	2,747.30	16.1	381.16	3.0	95.5	—	145
11期(2019年2月26日)	17,193	5.1	2,796.11	1.8	372.18	△ 2.4	93.8	—	72
12期(2020年2月26日)	18,565	8.0	3,128.21	11.9	404.60	8.7	87.8	—	63

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

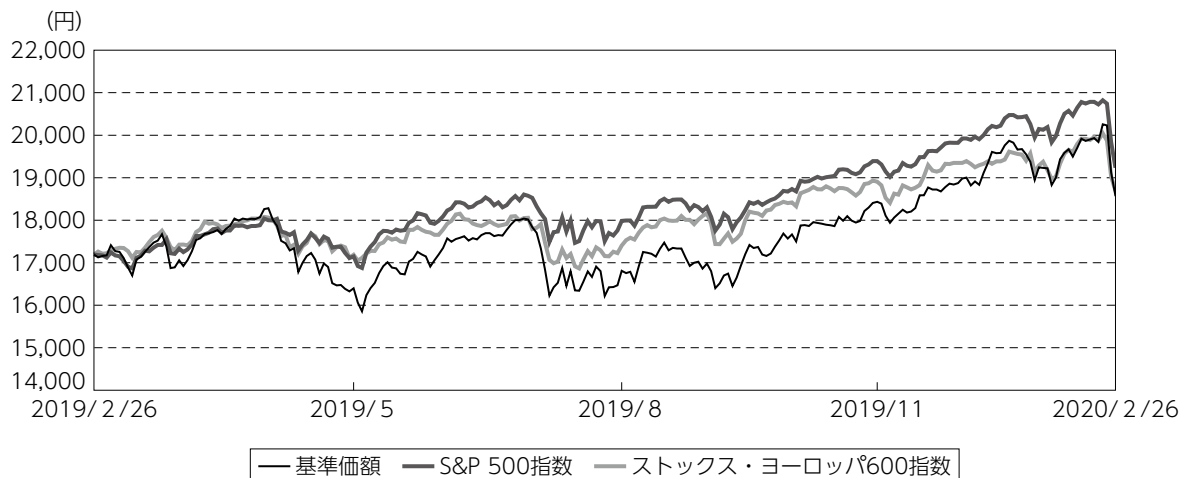
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2019年2月26日	17,193	—	ポイント 2,796.11	% —	ポイント 372.18	% —	% 93.8	% —
2月末	17,158	△ 0.2	2,792.38	△ 0.1	372.58	0.1	93.8	—
3月末	17,061	△ 0.8	2,815.44	0.7	376.84	1.3	98.4	—
4月末	18,015	4.8	2,926.17	4.7	390.15	4.8	97.0	—
5月末	16,397	△ 4.6	2,788.86	△ 0.3	372.07	△ 0.0	95.7	—
6月末	17,193	0.0	2,924.92	4.6	382.21	2.7	95.0	—
7月末	17,838	3.8	3,013.18	7.8	385.11	3.5	95.4	—
8月末	16,810	△ 2.2	2,924.58	4.6	376.74	1.2	94.0	—
9月末	16,861	△ 1.9	2,961.79	5.9	391.79	5.3	92.0	—
10月末	17,664	2.7	3,046.77	9.0	398.70	7.1	91.9	—
11月末	18,433	7.2	3,153.63	12.8	409.25	10.0	89.4	—
12月末	19,003	10.5	3,240.02	15.9	419.74	12.8	90.7	—
2020年1月末	19,222	11.8	3,283.66	17.4	415.16	11.5	89.0	—
(期 末) 2020年2月26日	18,565	8.0	3,128.21	11.9	404.60	8.7	87.8	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年2月27日～2020年2月26日)



(注) 参考指数は、S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。

(注) 参考指数は、期首(2019年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・収益の高成長が見込まれた米国のソフトウェアサービス株やメディア・娯楽株、ヘルスケア機器・サービス株の上昇がプラスに寄与しました。
- ・個別では、業績の伸長が見込まれる米国のADOBE INCやALPHABET INC、VEEVA SYSTEMS INCなどの上昇がプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・ドイツの自動車関連株や米国の半導体関連株の下落がマイナスに影響しました。
- ・個別では、ドイツのDAIMLER AGやCONTINENTAL AG、米国のXILINX INCなどの下落がマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、ユーロが円に対して下落(円高)したことがマイナス要因となりました。

投資環境

(2019年2月27日～2020年2月26日)

世界株式市場は、2019年2月下旬から10月上旬にかけては、トランプ米大統領が中国に対して制裁関税の発動を示唆するなど貿易摩擦懸念の高まりから5月や8月に下落する局面が見られたものの、金融緩和策が世界的に導入されるとの期待が下支えとなり、もみ合う展開となりました。その後、10月中旬から2020年1月中旬にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退する中、世界的に金融緩和が行われるとの期待から上昇しました。1月中旬から2月下旬にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が急速に強まったことから、下落する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年2月27日～2020年2月26日)

米中貿易摩擦の影響や足元の企業業績の動向を踏まえて、業績見通しに安定感のある米国のソフトウェア・サービス株、ヘルスケア機器・サービス株、欧州の高級品や化粧品などの消費関連株、中国・香港のネット関連の消費関連株を高位にウェイト付けしたポートフォリオを2020年1月にかけて維持しました。2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中国人観光客による消費が減速すると考え、欧州の消費関連株のウェイトを引き下げました。株式組入比率については、概ね84～98%台で推移させました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年2月27日～2020年2月26日)

当ファンドの基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はともに上昇しました。

今後の運用方針

世界の株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大を巡る先行き不透明感が続くと思込まれることから、短期的には神経質な値動きが予想されます。しかし、中国政府による景気刺激策や米連邦準備制度理事会（FRB）、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和など、世界的に新型コロナウイルスによる経済への悪影響を軽減するための政策が実施されると思込まれることから、景気悪化が長期化するリスクは限定的であると想定します。新規感染者数の増加が一巡するなど、感染拡大の抑制に目処がつかう局面においては、好業績が見込まれる成長株を選好する動きが強まると考えます。

今後の運用方針としては、米国や欧州など先進国の株式を中心としたポートフォリオで運用を行います。個別銘柄の選別におきましては、5G（第5世代移動通信システム）関連への投資増加が業績改善につながると予想されるソフトウェア・サービス株や半導体関連株を中心としたポートフォリオを構築する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年2月27日～2020年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 21 (21)	% 0.120 (0.120)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	12 (12)	0.066 (0.066)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	58 (55)	0.329 (0.313)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(3)	(0.016)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	91	0.515	
期中の平均基準価額は、17,637円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月27日～2020年2月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 26	千米ドル 178	百株 27	千米ドル 329
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	—	—	2	10
	フランス	3	90	1	51
国	香港	19 (5)	千香港ドル 246 (ー)	246	千香港ドル 553

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年2月27日～2020年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	85,352千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	64,800千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月27日～2020年2月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 34	百万円 7	% 20.6	百万円 51	百万円 13	% 25.5

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	83千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	29千円
(B)／(A)	35.3%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPAN、OKASAN INTERNATIONAL ASIA LTD/HONG KONGです。

○組入資産の明細

(2020年2月26日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
BLACKROCK INC	0.5	0.2	10	1,116	各種金融	
JPMORGAN CHASE & CO	1	1	12	1,392	銀行	
S&P GLOBAL INC	0.5	0.5	14	1,558	各種金融	
MASTERCARD INC - A	1	1	30	3,341	ソフトウェア・サービス	
NEWMONT CORP	—	3	14	1,626	素材	
SALESFORCE.COM INC	1	1	18	1,999	ソフトウェア・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	1	30	3,415	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TJX COMPANIES INC	1	1	5	658	小売	
VISA INC-CLASS A SHARES	1	1	18	2,078	ソフトウェア・サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
DANAHER CORP	1	3	45	5,018	ヘルスケア機器・サービス	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	2	2	29	3,308	ヘルスケア機器・サービス	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	2	1	20	2,268	小売	
AMAZON.COM INC	0.1	0.1	19	2,176	小売	
APPLIED MATERIALS INC	—	1	5	649	半導体・半導体製造装置	
BAIDU INC - SPON ADR	1	—	—	—	メディア・娯楽	
COMCAST CORP-CLASS A	1	1	4	476	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL A	0.2	0.2	27	3,058	メディア・娯楽	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	1	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
BOOKING HOLDINGS INC	0.1	0.1	17	1,904	小売	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XILINX INC	1	1	8	925	半導体・半導体製造装置	
INTUITIVE SURGICAL INC	1	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
MICROSOFT CORP	1	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
APPLE INC	—	1	28	3,177	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ADOBE INC	1	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
BIOGEN INC	1	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BROADCOM INC	1	1	28	3,118	半導体・半導体製造装置	
JD.COM INC-ADR	—	1	3	428	小売	
小 計	株 数 ・ 金 額	23	22	396	43,696	
	銘柄数 < 比率 >	25	21	—	<68.7%>	
(ユーロ・・・ドイツ)			千ユーロ			
CONTINENTAL AG	1	1	10	1,241	自動車・自動車部品	
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	3	1	3	473	自動車・自動車部品	
小 計	株 数 ・ 金 額	4	2	14	1,715	
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	<2.7%>	

グローバル・エクセレント・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ・・・フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ALSTOM		1	1	4	547	資本財
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		—	0.4	15	1,822	耐久消費財・アパレル
CHRISTIAN DIOR SE		—	0.2	7	958	耐久消費財・アパレル
DANONE		—	1	8	972	食品・飲料・タバコ
HERMES INTERNATIONAL		0.2	0.3	19	2,388	耐久消費財・アパレル
小 計	株 数 ・ 金 額	1	3	55	6,688	
	銘柄数<比率>	2	5	—	<10.5%>	
(ユーロ・・・オランダ)						
AIRBUS SE		0.4	0.4	4	592	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	0.4	0.4	4	592	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.9%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	5	5	75	8,996	
	銘柄数<比率>	5	8	—	<14.1%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN		0.3	0.3	9	1,118	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株 数 ・ 金 額	0.3	0.3	9	1,118	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.8%>	
(香港)				千香港ドル		
CLP HOLDINGS LTD		10	—	—	—	公益事業
HONG KONG & CHINA GAS		50	—	—	—	公益事業
LENOVO GROUP LTD		200	40	21	306	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
TENCENT HOLDINGS LTD		5	3	120	1,705	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額	265	43	142	2,012	
	銘柄数<比率>	4	2	—	<3.2%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	294	70	—	55,824	
	銘柄数<比率>	35	32	—	<87.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2020年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 55,824	% 87.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	7,764	12.2
投 資 信 託 財 産 総 額	63,588	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(58,046千円)の投資信託財産総額(63,588千円)に対する比率は91.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=110.31円、1ユーロ=119.88円、1スイスフラン=112.98円、1香港ドル=14.16円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	63,588,220
コール・ローン等	5,552,649
株式(評価額)	55,824,558
未収入金	2,200,341
未収配当金	10,672
(B) 負債	24
未払利息	2
その他未払費用	22
(C) 純資産総額(A-B)	63,588,196
元本	34,251,455
次期繰越損益金	29,336,741
(D) 受益権総口数	34,251,455口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,565円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.8565円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は42,317,874円、期中追加設定元本額は449,021円、期中一部解約元本額は8,515,440円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

グローバル・エクセレント・オープン(愛称 世界連峰)
34,251,455円

○損益の状況 (2019年2月27日~2020年2月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,143,023
受取配当金	924,557
受取利息	31
その他収益金	219,809
支払利息	△ 1,374
(B) 有価証券売買損益	4,687,373
売買益	10,604,153
売買損	△ 5,916,780
(C) その他費用等	△ 228,093
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,602,303
(E) 前期繰越損益金	30,440,877
(F) 追加信託差損益金	329,312
(G) 解約差損益金	△ 7,035,751
(H) 計(D+E+F+G)	29,336,741
次期繰越損益金(H)	29,336,741

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。